
男ノ恋愛。真面目カラ遊ビマデ。-ノンフィク

25歳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男ノ恋愛。真面目カラ遊びマデ。 - ノンフィク

【Nコード】

N4046D

【作者名】

25歳

【あらすじ】

ノンフィクションです。真面目な恋愛から遊び人まで経験しました。そんな俺のありのままの恋愛体験を素直に書いていきたいと思っています。とりあえず今回は16歳の時に初めて彼女ができるまでです。

初彼女

高校生の時だった

「……………別れよつか」

涙流しながら電話越しに言われたあの言葉と、言葉では言い表せないぐらいの

思いは今でも覚えてる。

こんな思いをするなら恋愛なんてしたくないって思った。

と、まー硬くはじめてみましたが

こんな硬い感じで書くつもりはありません。

疲れちゃうし、なんかありのままを書けない気がするから。

25歳になる男です。

今の時代の学生の恋愛はよくわかんないけど、俺の世代にしては結構恋愛経験は

豊富だと思う。

男の恋愛体験とか、恋愛感情って漫画とか小説とかあんまないからそういう意味で

楽しんでもらえたらなと思います。

そういう事でノンフクションですw

16歳高校2年生。

彼女とか今までまったく意識していなかったけど、周りの空気に影響され少しずつ

欲しいかもと思ってきた時期だった。

ただそこまで、学校の女の子と親しくないし、付き合いたいって思う子さえいなかった。

その中で2学期の夏休み中に友達内で合コンをしよう！と盛り上がった。

まだネットもそこまで普及していなかった（というか危険性がなかった）ので俺は普通に

出会い系の掲示板にこう書いた

「今度合コンしませんか？年は16歳〜17際です。番号はXXXX-XXXXX-XXXXXです。電話ください。」

今考えると恐ろしい。。ネットに番号を載せるなんて。。

ただ今じゃないんです。

普通に電話かかってきます。

「掲示板見ました、合コンしませんか？」

そんなこんなで3対3で合コンする事になりました。

と思って3人集めて行ったら相手は2人でなんと微妙な3対2の合コンをしました。

この時なぜかあんま仲よくない友達2人を連れていったんですがいざ合コンになるとあんま関係ないんだよね。

むしろそこか、その後の反省会とかで仲良くなる。

それを今後ゴウコミュニケーションって呼ぶようになるんだけどw

んまーそんな話はおいといて、一次会カラオケ行った後（高校生居酒屋はいれないからね。）
飲みたいね！って話で盛り上がり結構大きい公園に酒持って移動しました。

結構飲んで、その酔ってる中で

「おい、おまえら付き合っちゃえよ」

ってノリで俺が言ったら

「んじゃ、付き合つか」

みたいな感じでノリで付き合いました。

え！。

しかも女の子かわいいし。

つか、一番驚くのはあれから約10年
まだこの2人付き合ってますww
すげーなー
運命ってすげーなー
俺すげーなー

んで、別の日にもう一人の女の子から電話かかってきて

「付き合おう」って俺告白されました。

初かの欲しい！って葛藤があったけどタイプじゃなかったんで
丁重にお断りしました。

結構悲しんで、悪かったなって軽くショックを受けたけど
まーしょうがないよなって思っていました。

そしたら2日後、もう一人一緒に合コン行ったやつとその女の子が
付き合っていました。

えー！

どんだけー！（って当時は思っていないけどw）

まーその2人はさすがに今は付き合っていないけど
6年ぐらいは付き合っていましたw

なんかこの合コンかなり運命的です。

それから俺は学年内でコンパで一躍有名となり、いたる人に合コン
を開いてー

と言われるようになりました。
よかったよかった

じゃなくて、タイトル初かの！ではじまってから

まだ俺好きな人すら出来てないしw

ってことで本題にー

冬のスキー旅行かな。学校での。
飯食うときに、俺の友達2人が

「りかさんかわいいんだよなー」って言うてました。

俺が「え、どの人？」って聞いたら

「あの、隣のクラスの一番端の子。俺軽く話せはするんだけどそこまで仲良くないんだよね」
って。

俺はふーんって感じで見てました。

なんかそれからその友達という時に、その子がすれ違つと
「おっす！」みたいな感じで挨拶してたからいつしか俺もするようになりました。

ん

あれ？

「おつす！」しか言っていないよな。

で、気になり、番号を聞こうと思いました。
あれ！？早くね！？

やべー、ここまでひっぱといてあんま覚えてねーな。

たぶん、ちょこちょこは話してたと思います。
たぶん。

2学期の終業式の日には番号聞こうと、俺は心に決め学校へ向かいま
した。

ヨシ、ガンバルゾ！

彼女は休みでした……。

おい。

そんなへこたれた俺は、友達とカラオケオールです。
夜テンションも上がってきて

「よし、俺はリカサンに電話するよ！！！！番号を教えてください！」と
番号を知っていた友達に聞きいきなり電話しました

俺「あ、もしもし、 です。わかります？」

リカサン「え？ああ！わかるよ！どうしたの？」

俺「いや、ごめん急に。ちょっと友達に聞いてかけちゃった。ほんとは

直接番号聞こうかなとか思ってたんだけど、今日休みだったからさ」

リカサン「そうなんだー！ううん、ぜんぜんいいよ、ありがとね！」

と！

なんかいい感じの電話でした。

とりあえずすげー嬉しかったのは覚えています。

んで次の日、俺の携帯からあんま聞きなれない音が聞こえました。

ショートメール受信

ん、内容を見てみると

「オハヨー、リカヒメより」
リカヒメ・・・？リカさん！？

そう、当時Eメールというものがなかったんです、相手はJ・P H
ONEで
メールのやりとりができなかったんだけどポケベル方式でショート
メールはできたんで
それで送ってきてくれたんです。

俺はすげーテンションが上がって、J・PHONEのパンフレット
を必死に見て（なぜあるの！？）
メールの送り方を調べ送り返しました。

そんな幸せなメールのやり取りが続き3月30日、

ついに？

「あなたの事が好きです、オヤスミ」って告白投げメールがきまし
た。

え、まじで！？ほんとに！？
興奮しました、鼻息がフンフン言いました
やべー、ついに彼女ができる！

よ、よーーし、
ってねるんかい！！！！
じゃあ俺も寝よう。

で、31日起きて電話しました、

俺「じゃあ付き合おうつか？」

リカサン「うん」

こうして俺の初カノが16歳の3月31日に案外あっさり出来ました。

あー、なんか合コンの話のながかったような・・・。

次は彼女との付き合いから別れまでを書きます。。。

案外なげーな・・・

ではでは。

初キス（前書き）

隣のクラスの子と春休みに付き合い初カノができました。

初キス

という事で高校2年の3月31日に初の彼女ができました。

なんか

嬉しいっていうか

今後どうなるんだろっていう楽しみでドキドキで

今みたいに彼女ができたら、

あーあの子とセックスできるんだ!!!

うおおおおおみたいな、下心もなく純粹に楽しみでした。

そんな付き合った彼女と会う前に友達4人と花見オールに行きました。

友達は男5人・・・彼女持ちは俺含め2人。

もちろん他の3人は女の子が欲しいと騒ぎます。

そんな時、俺の携帯が鳴ります。

友達「俺も彼女欲しいし、告白するわ!ちょっと相談乗ってくれ!」
といわれ

俺「ごめん、ちょっと俺抜けるわ」といい

その場を離れチェリでそいつの所へ向かうことに。

んで友達との相談を終え花見組みに電話すると
なぜかめっちゃくちゃ盛り上がっている。

そして後ろから女の子の声が・・・

花見友達「早く戻ってこいよ！楽しいぞ！！」

んで、戻ります。

なぜかナンパに成功したらしくかわいい女の子が2人います。

そしてやたら飲んでます。。

俺はこのテンションについていけるのか・・・と不安いっぱいだった

30分後・・・

この輪の中心になっていました。

ブラックニツカを一気したら一発でいきました。

もはやビーサンすらはけません。

ビニールシートの上をのたうちまわっています。

王様ゲームもはじまっています。

しかし酔っ払って意味がわかりません。

そしてトイレに行く途中に

ナンパした女の子と

初キスをしました!!!!!!!!!!

やったーーーー初キスだーーーー
あんま覚えてねーーーー

そう俺の初キスは

その日にあい、

飲んだ勢いで、

浮気という事実の中

達成しました。。。

最低。。。

その後、なんか地元の悪にからまれ

友達に口殴られ歯が欠け、

気がついたら朝になっていました。

ぽけー

初カノと恋愛（前書き）

初カノでしたが、なぜか初キスはナンパした子としました。その件は別に繋がりませんが、真面目な真っ青な青年の初めての恋愛と失恋です。

初カノと恋愛

彼女とは春休み中に会った。

おかしな事に、初デートがどれだったか覚えてないけど夜家を抜け出して会いに行ったことは覚えてる。

当時結構家も厳しくあんま夜出れなかったが

俺の部屋は入り口側で窓から抜け出して原付でちょこちょこ会いに行っていた。

親はきづいてたのかな。。？

彼女の家は原付で20分ぐらい。

家の近くの公園のベンチでいつしか語るようになった。

何話してたのかなー、ぜんぜん覚えてない。

というかまったく覚えてない。

でもその話していた場所はイメージできる。

なんかさざなみ公園みたいな名前のつきそうな場所。

あとは桜が見える公園を2人で歩いた記憶がある。

そんなとき初めて手を繋いだ。

幸せだった。

結構有名な話だが男はまだ女慣れしていない時、女の子と手を繋ぐだけで

勃起するw

いや、マジな話。

それを隠そうとぼけつとの中につつこんだ手でなんとかポジションチェンジしようとするが
なかなかうまくいかず、たぶんよくみたらおかしな動きをしていたと思う。

彼女ももしかしたら気づいていたかもしれない。
それをトイレで直した記憶がある。

どうでもいいとこだけ覚えてるし。

んでそんな春休みを過ごしてる間に高校3年の学生生活がはじまった。

クラスは変わってません。

学校で会つと妙に照れくさい。

廊下ですれ違って、付き合う前だったら

「おっす」とか言ってたのに

照れ笑いですれ違うだけ。

でもそういう時って、嫌なような嬉しいような、
俺はこういう時に凄い生きがいを感じる。

始業式の時に彼女の友達にちゃかされたりもした。

学校が終わると夢にまでみた彼女との下校。
うちの学校はチャリ通が多く彼女もその一人だった。

彼女は学校までチャリで40分とかなり遠かった。

俺は歩いて3分・・・。

夢の登下校できないじゃん！と思うが、当時の俺は素直で真面目な一途な少年だったのか、

それともただ一緒に下校したかっただけなのか歩いて3分のところをチャリで通い、

帰りは彼女を40分かけておくり（というか2人別々のチャリだけど）送った後43分かけて自宅に帰ってましたw

でも一度もそれを苦だと思わなかったし、むしろ幸せだった。

一緒に帰るときに「結婚しようね」って約束もした。

毎週火曜日は2人にとって学校をさぼる日だった。

3年ということである程度授業をさぼってもさほど問題じゃなかった為、

火曜日は2限までさぼり3限から学校に行ってた。

じゃあそれまで何してたかというと彼女は、家族が会社などでいなくなっ

うちに遊びにきてた。

てかいちゃいちゃしてた。

俺のベットに2人で入ったりして音楽聴いてた。

そんな火曜日を繰り返してたんだけど

ある時キスをして、彼女の服を脱がせた。

ブラを見ただけで興奮した。

胸を触った。

「嫌がらないんだ」と思いながらその手を進め、下を脱がした。

触った。濡れてた。

彼女は無言だった。

急に彼女は

「私だけ脱ぐの？」って聞いてきた。

俺はパンツだけ吐いてた。

パンツは脱がなかった。

立ってなかったんです。

たぶん緊張してたからだと思う。

それ以上はせず学校に向かった。

学校で彼女のクラスのやつにこんなことを言われた
「あいつ魔性の女だからやめたほうがいいよ」

俺は

「何いつてんの？そんなわけねーじゃん」
と返した。

俺は初の彼女だったけど彼女は俺が6人目でした。
そういうのもあって

彼女といるとたまに凄い嫌なことがあった。

「私右にたつの嫌なんだよね、左側でいい？」とか

普通に荷物を持ってといわんばかりにかばんをつきだしてきたり。

でも、特に文句も言わずその通りにしてた。

なんかよくわかんないし、そういうもんなのかなと思って。

付き合って少したつと彼女の実家に遊びに行った。
家族に少しあって彼女の部屋へ。

「もう家族出かけたよ」というと彼女は布団に座った。

でも俺は今までどおりやらなかった。

今思うと求めてたのかなとも思う。

そんなこともありながらただ普通にくまくやってたと思う。

ただいつからか彼女がだんだん冷たくなってきた。

帰りも送らなくていいよとか言い出したり、
家にもあんまりこなくなつた。

なんでだかよくわかんなかった。

俺は保険の先生と仲良くてよく相談にいつてた。

「そういう時もあるんじゃない？」とか

「受験生でいろいろ悩んでるんだよ」とか

真剣に話を聞いてくれた。

でも、ある時電話がかかってきた

別れようって電話だった。

たぶん本当に放心状態だったんだと思う。
その後の失恋した時は覚えてるんだけど
どんな電話だったかまったく覚えてない。

ただ彼女は風邪をひいてた。

その日クラスの飲み会があった。

俺はまさしくやけのみをした。
みんながいるのに泣いた。
やたら泣いた。

死ぬほど飲んで、死ぬほど泣いた。

クラスの男、女の友達から

「大丈夫？」

「かわいそう」

「一途なんだね」

「紹介するね！」

など遠くから聞こえてきてた気がする。

初めての失恋は辛くて辛くてしょうがなかった。

ほんとに真面目な、まっさらな気持ちで好きで好きで結婚するとい
うことを

真面目に考えてたのに「別れよう」って簡単な言葉で一瞬でその思
いが崩れた。

恋愛って本当辛いと思った。

初めての彼女はこんな感じで2カ月半で終わった。
セックスもやらずに終わった。

記憶がかなりあいまいだけど、振られた時はかなり辛かったことは覚えている。

初キスの件はなぜか流れているw

彼女にも言っただけ、なんかうやむやになった。
うーん。

次は2人目の彼女との出会いです〜

初カノと恋愛（後書き）

初恋愛を経験して、次節は新しい出会いを経験します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4046d/>

男ノ恋愛。真面目カラ遊ビマデ。-ノンフィク

2010年10月10日02時18分発行